

令和2年度学校評価 中間評価

学校教育目標

三大精神(質実剛健であれ・大道を闊歩せよ・弱音を吐くな)を实践し、自由と正義を尊び、利他の精神を持つ知力、体力、気力の充実した有為な青年を育成する。

重点目標

・教職員・保護者・地域が本校のあり方についての方向性をひとつにして、学校力(企画力・教育力・組織力)の向上をめざす。
 ・生徒個々が「知力」・「活動」・「交流」をとおして人間力(魅力・社会力・生命力)を獲得する。

- ① 社会性に富む生徒の育成
- ② 自己表現に挑む生徒の育成
- ③ 面倒見の良い学校、支え合う学校、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり

領域	評価対象	評価項目 (重点課題)	重点目標との 関連	評価の内容		評価の観点(活動目標)
				保護者 評価	中間 評価	
学校運営	地域・家庭との連携	A1 タイムリーな情報発信	③	B	A	学校ホームページ等による情報提供
		A2 学校と家庭との情報交換	③	A	B	学校と家庭との双方向の情報交換
	学校環境・学校施設の向上	A3 学校環境の整備	①③	B	B	校内美化の推進(部室周辺などの外清掃の徹底)
	中期的な課題への取り組み	A4 将来ビジョンの構築と具体化	②③	B	B	現状と将来的な展望に対する職員間の共通認識の構築
教育活動	進路指導	B1 生徒のキャリアデザインを視野に入れた進路選択	①②③	A	B	進路情報の適切な運用と進路関係行事の円滑な運営 キャリア教育の充実
	学習指導	B2 授業の質の向上をはかる	②③	B	B	授業評価の有効活用 ICT機器活用の推進(授業公開・利用相談の企画)
	生徒指導	B3 マナーとモラルの育成	①	A	B	TPOに応じた行動・服装頭髪を自ら考え、実行していくような意識 改革の取り組み(交通マナー・服装頭髪・携帯電話のマナーを重点に)
			②	B	B	基本的な生活習慣の確立
	生徒会指導	B4 自主性及び企画運営力の育成	①②	A	B	積極的な日常活動の推進
			①②	A	B	縣陵祭での発想力と自主性の強化
	部活指導	B5 効果的な指導による生徒の育成	①②	B	A	生徒の活動のサポート
			①②	B	B	計画的な活動の実践

中間評価段階 A 達成できている B ほぼ達成できている C あまり達成できていない D 達成できていない

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。「校内設備改善(トイレ・エアコン)」「classiの活用」「部活動のあり方」へのご要望が多く寄せられました。すべてのコメントを全職員が閲覧できるようにし、各部署へ検討を依頼しています。